

南陽小学校の児童のみなさん、おはようございます。

暑い日が続いています。そうした中で、夏休みになって20日ほど過ぎましたが、ここまで大きな病気や事故の報告がなく、みなさんが健康・安全に暮らしていることをうれしく思っています。残りの休みも、命と健康を守るためにどうすればよいのかをよく考えて行動してください。

さて、私たちの町長崎市に、原子爆弾が落とされてから78回目の夏がきました。昨年お話ししましたが、校長先生のおじいさんが亡くなってから78年が過ぎたことになります。遺体すら見つからなかったおじいさんの骨壺には、働いていたであろう場所のがれきのような物と砂しか入っていないことにも触れました。

たった1発の原子爆弾によって、長崎に住む多くの人々の命を奪い、体を傷つけ、町を破壊したことは、これまでの学習や永井徳三郎さんからのお話、そしてこの後の5年生の発表などで分かった、または分かりつつあると思います。さらに、皆さんは「誓いの言葉」や「折り鶴折り」などの平和に向けた活動に取り組んでいます。

校長先生からは、二度と核兵器が使われない平和な社会を築くために取り組んでいる学校外でのその他の活動や人々を紹介します。

まず紹介するのは、「長崎市民平和憲章」です。被爆地長崎に住む市民の使命として、核兵器の廃絶と世界平和の実現に努めることを宣言したものです。この平和憲章は、英語にも訳されて世界中に発信されています。

長崎市民平和憲章

私たちのまち長崎は、古くから海外文化の窓口として発展し、諸外国との交流を通じて豊かな文化をはぐくんできました。第二次世界大戦の末期、昭和20年(1945年)8月9日、長崎は原子爆弾によって大きな被害を受けました。私たちは、過去の戦争を深く反省し、原爆被爆の悲惨さと、今なお続く被爆者の苦しみを忘れることなく、長崎を最後の被爆地にしなければなりません。

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

私たち長崎市民は、日本国憲法に掲げられた平和希求の精神に基づき、民主主義と平和で安全な市民生活を守り、世界平和実現のために努力することを誓い、長崎市制施行百周年に当たり、ここに長崎市民平和憲章を定めます。

1. 私たちは、お互いの人権を尊重し、差別のない思いやりにあふれた明るい社会づくりに努めます。

1. 私たちは、次代を担う子供たちに、戦争の恐ろしさを原爆被爆の体験とともに語り伝え、平和に関する教育の充実に努めます。

1. 私たちは、国際文化都市として世界の人々との交流を深めながら、国連並びに世界の各都市と連帯して人類の繁栄と福祉の向上に努めます。

1. 私たちは、核兵器をつくらず、持たず、持ちこませずの非核三原則を守り、国に対してもこの原則の厳守を求め、世界の平和・軍縮の推進に努めます。

1. 私たちは、原爆被爆都市の使命として、核兵器の脅威を世界に訴え、世界の人々と力を合わせて核兵器の廃絶に努めます。私たち長崎市民は、この憲章の理念達成のため平和施策を実践することを決意し、これを国の内外に向けて宣言します。

平成元年3月27日 長崎市議会議決

平成元年3月27日 長崎市告示第112号

つぎ、せいしょうねん ぜんこく ちゅうがくせい ながさき あつ へいわ おも いけん
次に、「青少年ピースフォーラム」です。全国から中学生が長崎に集まり、平和への思いや意見
かた あかい しょうねんへいわ ゆうじょう つばさ せんそう おお ひがい う おきなわ ちゅうがくせい
を語り合う会です。「少年平和と友情の翼」は、戦争によって大きな被害を受けた沖縄の中学生
と、ながさき ちゅうがくせい たが まち ひさん れきし し へいわ たいせつ かんが あ かつどう
と、長崎の中学生が、互いの町の悲惨な歴史を知り平和の大切さを考え合う活動です。

青少年ピースフォーラム

1日目：被爆遺構のガイドなどで原爆について学びます。



2日目：平和や、自分たちの未来について意見交換を行います。



(ながさきの平和HPより引用)

少年平和と友情の翼

長崎原爆と沖縄戦の悲惨さについて学ぶとともに、地元の中学生との交流をとおして平和の大切さについて考えます。



(ながさきの平和HPより引用)

こうこうせい へいわ たいし ぜんこく えら こうこうせい しよめい かつどう どう へいわ
「高校生平和大使」は、全国から選ばれた高校生が、署名活動等をしながら平和のメッセージ
ぜんせかい へい ほんしん かつどう
を全世界に向けて発信する活動です。

おとな うご へいわ かつどう いましようかい とりくみ みつ こ ちゅうしん こ
大人が動く平和活動があるように、今紹介した取組は、三つとも、子どもたちが中心の子ども
ちから うご へいわ かつどう ちか しょうらい なんよう しょう そつぎょうせい かつどう と く すがた み
たちの力で動かす平和活動です。近い将来、南陽小の卒業生がこうした活動に取り組む姿が見
られたらうれしいです。

高校生平和大使

全国から選ばれた高校生が、核兵器のおそろしさと平和の大切さを、世界に発信しています。

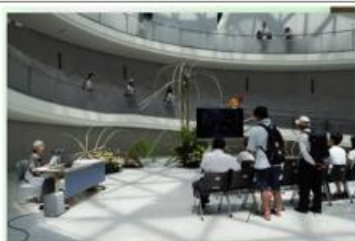


(高校生1万人署名実行委員会HPより引用)

もう一つだけ紹介します。それは、「**家族証言者・交流証言者講話**」です。被爆から78年が経ち、被爆者の方々が**高齢**となり、また**少なくなり**、**被爆体験講話**の**機会**が**減**っています。被爆者の**体験**や**思い**を語り継ぐために、**家族の方**や**思い**を引き継ぎたい**気持ち**を持った方が**講話**をする活動です。先日南陽小に来ていただいた**永井徳三郎**さんが、この**家族証言者**にあたります。証言者についての**年齢**の制限はないそうです。平和のために何か活動したいと思うことがあったら、**希望**してみてはどうでしょうか。

家族証言者・交流証言者

被爆の体験や思いを受け継ぎ、次の世代へ伝えていく取組



長崎原爆の日に



市民大行進の後に

ギャラリーも多数いました!



(ながさきの平和HPより引用)

[ながさきの平和]で検索すると、これら以外にも多くの資料が載っているHPが見つかります。南陽小の子どもたちが、**平和な社会**をつくるために**積極的に活動**する人に**成長**することを期待して、**校長先生**からのお話を**終わ**ります。**最後まで**聞いてくれてありがとうございました。